

協議事項 2 天神社総合調査について

1 調査目的

歴史文化基本構想の考え方にに基づき策定された『西東京市文化財保存・活用計画』では、地域に存在する歴史文化の様々な表出形態を「文化財」とし、一定のまとまりをもった文化財群（「関連文化財群」）を把握し、総合的に保護していく考え方を推奨している。

さらにこの「関連文化財群」をつなぐ関連性を「ストーリー」として示すことで、地域の歴史文化の特性をわかりやすく伝えることができ、地域の歴史文化がより身近になり、また、現代の自分たちの暮らしにつながる基盤であると感じられることが、文化財保護意識の醸成を図るとしている。

このことから、天神社拝殿の西東京市文化財への指定を契機として、天神社を取り巻く関連文化財群の把握・価値づけを行い、またその成果から歴史文化の特性をストーリーとしてわかりやすく伝えることを目的として総合調査を実施する。

【参考】西東京市文化財保存・活用計画
施策の柱 1 文化財の調査・研究
施策の方向 1-1 文化財の計画的で総合的な調査の推進

- ・文化財等調査の計画的な実施
- ・地域の伝統的文化等に関する文化財の総合的把握
- ・調査員制度の導入の検討
- ・関連文化財群等の調査・研究

2 総合調査の概要

(1) 実施項目

- ・天神社の保有する文化財の記録及び価値づけ
- ・関連する文化財を含めた総合的な価値づけ
- ・周辺地域における天神社の歴史的な意味づけ及び普及

【成果の公表（案）】

- △①天神社総合調査報告（それぞれの調査成果をまとめた短報）
- ▲②天神社総合調査報告（総括編）
- ③「天神社が語る下保谷の暮らしと祈り」（リーフレット）
- △④企画展示
- △⑤文化財巡り

(2) スケジュール（案）

期間：平成 29 年 12 月 1 日から平成 31 年 6 月 30 日まで

別紙

(3) 調査体制

文化財総合調査員として市から依頼し、組織化を行う。

・調査員…文化財保護審議会委員から 4 名程度（石井・鈴木・近辻・廣瀬委員）

- ①調査内容の検討
- ②個別文化財の調査・研究
- ③「調査協力員」の調査の指導・確認・価値づけ
- ④関連文化財群のまとめとストーリーの作成

・調査協力員…市民から数名（担当委員からの推薦）

調査員の補助（文献調査、聞き取り調査等基礎調査）

(4) 想定される調査項目・内容（案）

○建造物及び付属物 【担当】鈴木委員

拝殿、鏝絵、彫刻、旧本殿（三十番神との関連） 等

○文書 【担当】近辻委員

蓮見家文書、その他文書

○金石文 【担当】廣瀬委員

石造物等

○民俗資料等 【担当】石井委員

有形：絵馬、奉納額、その他天神社保有の資料等

無形：保谷囃子 等

・周辺地域との関連性等

三十番神信仰関連、練馬区（特に大泉地区）及び周辺地域の調査 等

・文化的景観

境内の樹木等（鎮守の森）、立地・来歴の調査（下保谷絵図等地図資料） 等

・地域の産業

地域（歴史・文化）を支えた産業

・天神社の保存、活用

現在の保存・活用の状況把握 等

(5) 天神社をめぐる関連文化財群とストーリー（例）

